

市政の主役はあなたです。みんなの意見で住みよいまちづくり

あなたの声を市政に



あなたの声を市政に

市政への意見を気軽にお寄せください

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

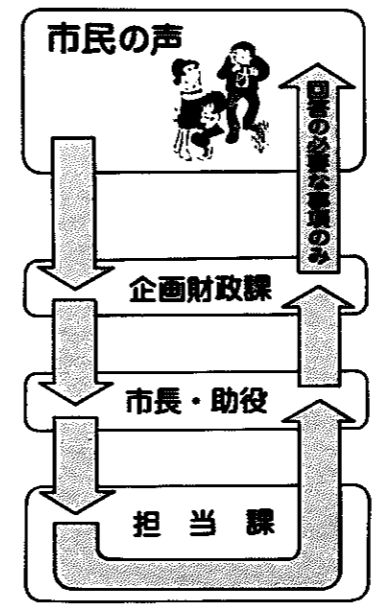
.....

このはがきは、料金受取人払いです。切手をはらずに、そのままポストに入れてください。はがきの差し出し期限は、五十八年十一月三十日までです。とじてしお寄せください。

|       |   |   |       |   |
|-------|---|---|-------|---|
| あなたの名 | 前 | 男 | 女     | 歳 |
| おとこ   |   |   | 白根市大字 |   |
|       |   |   | 番地    |   |

はがきの処理経路

皆さんからお寄せいただいた「はがき」は、下図の処理経路により、的確に処理します。



神社跡へは船でお参りに

語る人

織田 護さん(七二) (北田中)

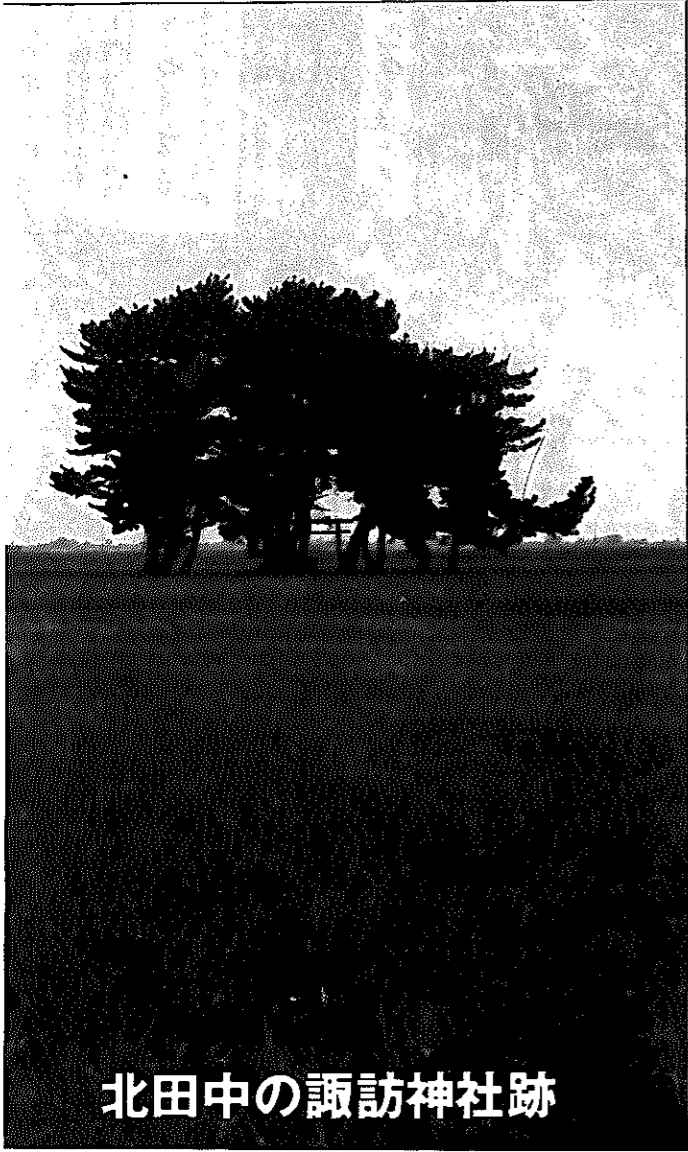


私の思い出  
昔のわが街

北田中の部落から約一・五km北  
広々とした田園の中に、松でこ  
もり囲まれた諏訪神社の旧跡があ  
ります。  
四百五十年ほど前、私の先祖の  
織田半五郎が数人とこの地に移り  
住み、土地を開墾。しかし、こ  
の地は湛水地だったため作物がだ

めになることが多く、豊作を願  
い諏訪神社を建てたと伝え聞いて  
います。それでも被害が続き、住  
民は現在の北田中と下山崎に分か  
れて住むようになったそうです。  
社がいつごろなくなったかはわ  
かりませんが、昔から祭りごと  
北田中の部落が行ってきたそう  
です。私が小さいころ、この地は  
だ低湿地帯で、稲刈りが終わると  
あたり一面が湖のようになるん  
です。神社跡へは船でお参りに行  
ったものです。松が目印になっ  
ていたんです。

北田中の諏訪神社跡



★佐藤又市

白根市旧赤浜組中山村里正。天  
保三年(一八三二年)に又市の三  
男として生まれ、幼名を礼助とい  
った。天明年中(一七八一―八八  
年)新発田藩は白蓮郷を開拓した  
が、低湿地で百五十町部は湛水し  
た。又市は領主の許可を得て西笠  
巻に排水路をつくり、白井、小蔵  
子、中山の入会高地に、白蓮郷よ  
り七百余間の新道と用水路を開い  
た。しかし笠巻川の水門は洪水の  
ためこわれ、復旧工事もうまくい  
かなかつた。文久年間(一八六一  
―六三年)にいたり、笠巻川を埋  
め立て、約百町歩の水田を開拓し  
た。大通川沿いの水田のため、千  
三百間の作場道と用水路を開いた。  
藩主溝口氏は畑五反歩を与え、苗  
字帯刀を許し、大庄屋格に進めた。  
信濃川沿岸諸村はこの埋立てで水  
勢変動があると幕府に訴えたが明  
治になり、自ら解決した。大天津  
分水開通のため努力し、起工の時、  
民部省土木司川井掛となり、工事  
を監督した。明治九年に四十五才  
でなくなった。(中蒲原郡誌、信  
濃川改良工事沿革誌から)



「私の思い出 昔のわが街」欄へあなたの思い出の場所を。連絡は企画財政課広報広聴係へ。